

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	<p>◀<b>屋根</b>▶①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に除去して下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を通してデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて除去して下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地表面が均一に乾いてから施工して下さい。◀<b>外壁</b>▶①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で除去して下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑦リシンやスタッコ等で凸凹の隠れが困難な場合はあらかじめタイルフィラー等で下地調整して下さい。</p>						
2.下塗り	ダブルプライマー 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14kg 2kg 0~2ℓ	0.10~0.15 (kg/m <sup>2</sup> /回)	106~160m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー エアレス	1~2回	1日以上 5日以内
3.上塗り	<p>適用上塗材：タイル、タイルアクア、タイルα、タイルフロン、グランデ、ケイセラ 他</p> <p>※その他上塗材の適合に関しては弊社営業までお問合せください。          ※施工に際しては上記製品の各標準施工仕様をご確認の上、施工して下さい。          ※タイルサンクール、グランデチタンクール、ケイセラチタンクール、ラジセラに2層仕上げの仕様はございません。</p>						

## ●ダブルプライマー

(2液弱溶剤形中塗り兼用カラープライマー)

### ■荷姿

16kgセット 主剤：14kg  
硬化剤：2kg

8kgセット 主剤：7kg  
硬化剤：1kg

### ■可使用時間

4時間以内(23℃)  
※夏場2時間以内

### ■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・  
ケイカル板・窯業系サイディングボード吹付タイル  
・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・カラーベスト・  
厚型スレート瓦・等

### ■色

プレマテックス色全色  
日塗色全色



## 注意事項

- ・ダブルプライマーは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・ダブルプライマーは、2液反応硬化形ですので、混合後の可使用時間を厳守し、特に夏場は2時間を目安に使い切ってください。可使用時間以内に使用できなかった場合、下地や上塗材との付着力が低下しますので、必要に応じて都度小分けしてご使用ください。
- ・12層仕上げ工法の場合、上塗り2回の場合と艶が異なります。足場つなぎや塗りムラに注意して施工してください。
- ・リシン面等でダブルプライマーの隠れが悪い場合、タイルフィラー等で下地調整するか、ダブルプライマーの塗り回数を増やして下さい。
- ・ダブルプライマーは樹脂の性質上、指触乾燥後も表面のタックが抜けるまで時間がかかります。24時間以上の間隔時間を置いたら、ホコリや汚れが付着する前に上塗りを施工してください。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、ダブルプライマーの塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・コロニアル・カラーベストの重なり部分に塗料が付着し詰まっている場合は、漏水の原因となりますので皮すき、カッター等で縁切り、除去してください。
- ・ダブルプライマーは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。